



猪苗代・翁島・千里地区の新成人



誓いの言葉を述べる大川原さん



成人おめでとうござります

晴れの日を迎えた新成人からひと言



01

01_ 看護師を目指しています。患者さんを笑顔にできるような看護をしたいです。山口弥久さん(左から2人目)

02_ 4月から保育士として働きます。子どものありのままを受け止められるような保育士になりたいです。遠藤希さん

03_ 警察官になって2年目です。社会人としての意識をより高めて、努力を忘れずにしっかり生きていきたいです。小檜山徹さん

04_ 恩師からもひと言。「みんな立派になってとてもうれしく思う。素晴らしい猪苗代町を忘れずに、世界に飛躍して行ってほしい」。教え子たちのお祝いに駆け付けた猪苗代中の川島真一先生(中央)

05_ 陸上自衛隊福島駐屯地に勤務しています。何かあったときにはすぐに動いて、国のために貢献していきたいです。佐藤佳蓮さん(右から1人目)

06_ 4月から自動車整備の仕事に就きます。安心、安全なサービスを提供して、お客さんに「ありがとう」と言ってもらえるように頑張ります。阿部祐也さん(右から2人目)



02



03



04



05



06



育ててくれた両親に感謝しています。お金を貯めて親孝行したいです。正木恵理奈さん(右)

栄養士を目指して勉強を頑張ります。小林莉佳さん(左)



前後町長から成人証書を受け取る佐藤郁美さん



華やかな振袖に身を包んだ新成人たち

平成26年の町成人式は1月12日、学びいなで行われ、男子84人、女子70人の計154人が新成人として晴れの門出を迎えました。式では前後公町長が「お世話になった人への感謝の気持ちをお忘れすることなく、若さと情熱、揺るぎない信念を持って、自らの人生を切り開いてほしい」と式辞を述べた後、町内6地区の代表者にそれぞれ成人証書を手渡しました。鈴木武喜町議会議長、小檜山善継県議が祝辞を述べた後、成人代表の大川原伸幸さんが「野口英世博士の『目的・正直・忍耐』という遺訓を受け継ぎ、希望、責任そして郷土への誇りを胸に地域社会に貢献していく」と宣誓、成人としての誓いを新たにしました。式典終了後は、色とりどりの振り袖やスーツなどに身を包んだ新成人たちが旧友との再会を喜び合い、記念撮影などをする姿が見られました。



月輪・長瀬・吾妻地区の新成人